

事案書（☒経営会議 ☐調整会議）

開催日：平成26年 7月28日（月）

担当課：市民経済部 産業活性課

件 名：「さがみロボット産業特区」の区域拡大に伴う本市の取り組みについて	
提出理由：「さがみロボット産業特区」の区域が拡大され、新たに本市が加わったことに伴い、今後の企業支援の方向性などについて庁内の合意を得る必要があるため	
内 容： 1. 背景等 - 平成25年2月、神奈川県は、さがみ縦貫道沿線などの9市2町をエリアとする「さがみロボット産業特区」（以下「ロボット特区」という。）の指定を内閣府から受けた。 - ロボット特区は、地域活性化特区総合制度を活用して、介護など生活支援ロボットの実用化や普及を目指して、研究開発の環境整備や関連産業・周辺産業の集積を図るものである。 - 当初、大和市はロボット特区の区域に含まれていなかったため、平成25年8月の県央地域首長懇談会において、産業発展の観点などからも、本市を区域に含めるよう要望を行った。 - その後、県をはじめとする関係機関と調整を重ねた結果、平成26年3月にロボット特区の区域が拡大され、本市が追加されることとなった。 2. 企業支援等に関する基本的な考え - 本市にはロボット開発に活用できる技術を有する企業は複数存在しているが、その多くが中小企業である。 - 本市では中小企業に対する支援施策として、事業資金の間接融資や利子補給、保証料補助のほか、展示会における出展料補助などを行っている。 - 市内産業をより一層発展させていくためにも、ロボット特区の指定を契機に、関連企業の育成、支援に取り組んでいく必要がある。	3. 想定される支援施策等について (1) 実証実験 - ロボット開発の実証実験などに市立病院が協力 (2) 調査、研究組織 - 市内ロボット関連企業の技術等を最大限に活用するため、大和商工会議所と連携して設置する調査研究組織の運営を支援 (3) 補助制度の創設 - 神奈川版オープンイノベーションに参加し、技術が採用された企業に対する支援 - 市内の企業等が行うロボット研究や開発を支援 - ロボットや関連する製品等を生産するための工作機械等の導入を支援 (4) 啓発事業 「やまと産業フェア」等におけるロボット特区や市内関連企業の紹介 (5) その他 - 上記のほか、市内ロボット関連企業を支援するうえで必要となる施策について、検討を行い効果的に実施していく。 4. ロボット特区区域内の自治体 相模原市、厚木市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、愛川町、大和市
経 過 H24. 9 県がロボット特区指定を申請 H25. 2 国がロボット特区を指定 H25. 8 首長懇談会にて本市の区域編入を要請 H26. 1 県がロボット特区の区域追加を申請 H26. 3 国がロボット特区の区域を追加指定	今後の予定 H26. 8 オープンイノベーション補助要綱の制定 H26. 9 第3回市議会定例会へ補正予算案上程 H26.10～支援施策等の具現化に向けた庁内調整 H26.11 やまと産業フェアで介護支援ロボット等を展示